

村上市猿沢地域まちづくり通信

# リード! 猿沢 19

vol 19  
2017.3.15 発行

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る



- ◎寺尾雪灯籠づくり 1P
- ◎推計データから見える猿沢地域の未来 2P
- ◎シルクフラワー工房・小学校の取り組み 3P
- ◎おらだりやねらだりの宝もの 4P
- ◎どんど焼き・地域の茶の間 4P
- ◎春のお楽しみ行事 4P
- ◎あとがき 4P



**もはや冬の風物詩**  
**第4回寺尾雪灯籠づくり**

近年集落行事として恒例となった、「雪像と雪灯籠作り」が2月11日にふれあいセンター脇の広場で開催されました。今年には雪質が思わしくなく、雪像からかまくら作りに変更し、また雪が少ないことから軽トラックで延べ20台分の雪を集めました。積み上げた雪山を掘り、やがてかまくらが出来上がると子供達は中に入ってお菓子を食べたりココアを飲んだりして大喜び。並行して作った雪灯籠も完成し、夕方ロウソクに火が灯されると辺りは幻想の風景に包まれます。また、「ふれあいの会」のおかあさん達がこさえてくれた熱々の豚汁も振舞われ、にぎやかでとても楽しい冬の日でした。(佐藤政春 寺尾)

## 参加者の声

**雪** 像と雪灯籠作りに参加し、子供達の賑やかな声を聴きながら楽しませてもらいました。冷えた体に温かい豚汁が美味しかったです。(板垣彰夫 寺尾)

**当** 日豚汁を作ったのですが、皆さんが笑顔で美味しそうに食べてくれてほっとしました。寒い中本当にお疲れ様でした。(斎藤祥子 寺尾)

**ぼ** くがせつぞう作りで一番楽しかったのは二つです。一つ目はかまくらでみんなとあそんだことです。二つ目は雪山でそりをしたことです。とても楽しかったです。(板垣夢真 寺尾)

**か** まくらの中で楽しく豚汁を食べる子供達。雪灯籠に火を灯すと幻想的な雰囲気に包まれました。(小田篤 寺尾)

おらだりやねらだりの宝もの スポットを当てるコーナー

## 茗荷池に関する伝説と物語



茗荷池には大蛇伝説と大鮎伝説があります。今回は大鮎伝説をご紹介します。春もすぎ初夏のことでした。茗荷池は、何事もなかったように水を一杯張りつめて、「じゅんさい」の花が池一面に咲いていました。村の人が田植えを終えた後に、今夜のおかずにしようと池でじゅんさいを一生懸命採り始めました。まだ誰も採りに来た様子はなく、かご一杯に採れたので、家に帰ろうと、じゅんさいを採る竹竿を手元の方に引きよせると、竿の先がガボツとはね上がりました。鯉でもひっかかったのかと見てみると、1mもあるかと思われる大きな鮎でした。村に帰ってこのことを話すと、村の人達は、それは「茗荷池の主ださい」と驚いたそうです。茗荷池の主大鮎の話は近所の評判となり話の種になりましたが、その後この大鮎の姿を見た人は誰もおらず、今でも茗荷池の大鮎と伝わり、謎とされています。

この伝説、物語を大切に後世に伝えていきたいと思っています。(上野区長 斎藤 仁)

## 新年の恒例行事 どんど焼き



新年に入り、各集落でどんど焼きが行われました。どんど焼きとは、正月の松飾り・しめ縄・書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わる小正月(1月15日)の火祭り行事です。どんど焼きの火にあたり、焼いた餅を食べれば、その1年間健康でいられるなどの言い伝えもあり、無病息災・五穀豊穡を祈るものでもあります。地域により、よどりやい、賽の神鳥追い、ホイホイ、と呼ばれ、新年の恒例行事の一つとして古くから親しまれています。↑猿沢集落の鳥追い

## 皆んな仲間! 地域の茶の間



健康福祉部会主催で「地域の茶の間世話人情報交換会」を開催するので出席の案内を頂き参加させて頂きました。ビックリしたのは世話人の中で男性は一人で他は全員女性であること。ですが、集落で話しているように家族同様に話し合うことが出来ました。どんな運営方法で進めているか、世話をするスタッフは等々：いろいろな話題が出て時間の過ぎるのがもったいないくらいでした。今後の活動の為にテーマ等も参考に頂き大変充実した交換会でも今後も継続して頂きたいと思えます。(佐藤栄 寺尾)

## あとがき

現在、人口減少に伴い地域社会の維持にも様々な影響が懸念されています。原因のひとつでもある少子高齢化や若年層の県外流出など、あらゆるリスクに対応できる体制づくりが課題となっています。地域が暮らしやすく子育てしやすく学びやすく働きやすい地域にするため、あらゆる分野で少しでも暮らしやすい魅力ある活気に満ちた地域を目指す事が大切ではないでしょうか(石田勝 宮ノ下)



発行元・お問い合わせ  
**発行 猿沢地域まちづくり協議会**  
 ■事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢 5611 番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)  
 ■連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328 MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp  
 ■HP でも活動の様子を公開しております http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/

春のお楽しみ行事	
3月	24日 卒業証書授与式 (猿沢小学校) 27日 卒園式 (猿沢保育園)
4月	4日 入園式 (猿沢保育園) 7日 入学式 (猿沢小学校) 13日 虚空蔵様 春まつり (猿沢) 16日 観桜会 (川端) 22日 またぎの家 お食事処 (春営業) (みどりの里) 5月末まで 23日 春の村仕事と観桜会 (上野) 花見 (猿沢) 23日 大沢桜のライトアップ (寺尾) 29日 花壇の花植え (板屋越)
5月	3日 みどりの里 春まつり(〜5日まで) 4日 上のタンポと桜並木整備 (寺尾) 15日 新明宮祭礼 (鶴渡路) 21日 猿沢集落ウォーキング 27日 猿沢小学校 大運動会
6月	4日 猿沢地区敬老会 10日 地域一斉クリーン作戦 集落行事 保育園・小学校行事 まちづくり協議会主催のイベント



# 推計データから見える猿沢地域の未来。

「ひところより集落の子供が少なくなっ  
た」という声をよく聞きませんか？猿沢ま  
ち協では2015年までの国勢調査結果か  
ら、猿沢地域の人口を推計しました。

注目されるのは、子ども達と、働ける生  
産年齢人口（15〜64歳）がより多く減少し  
ていることです。そのため65歳以上の高齢

者の占める割合はほとんど増加し、1人の  
高齢者を支える生産年齢人口の人数は、ど  
んどん減少する計算になります。

少子高齢化・人口減少は、学校の統廃合、  
空き家の増加、山林農地の荒廃、要介護や  
病気などで運転できず通院や買物に困る方  
の増加、産業や地域事業の担い手不足、税

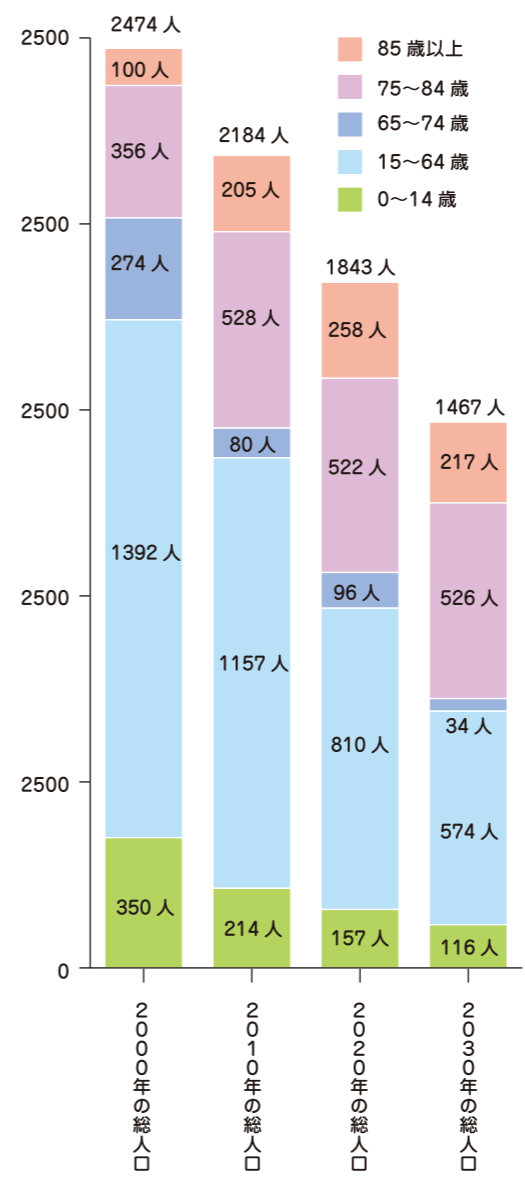
収不足により道路や橋が改修困難になるな  
ど、多くの問題につながります。

将来を担う地域の子供たちのために、「少  
子高齢化が進んでも元気で魅力のある、  
困っていないでしようか。地域住民が力を  
必要ではないでしょうか。地域住民が力を  
合わせ今のう  
ちから無理な  
くできること  
は何か、ぜひ、  
皆さんのお知  
恵とお力を猿  
沢地域まちづ  
くり協議会に  
貸していただ  
きたいと思っ  
ます。

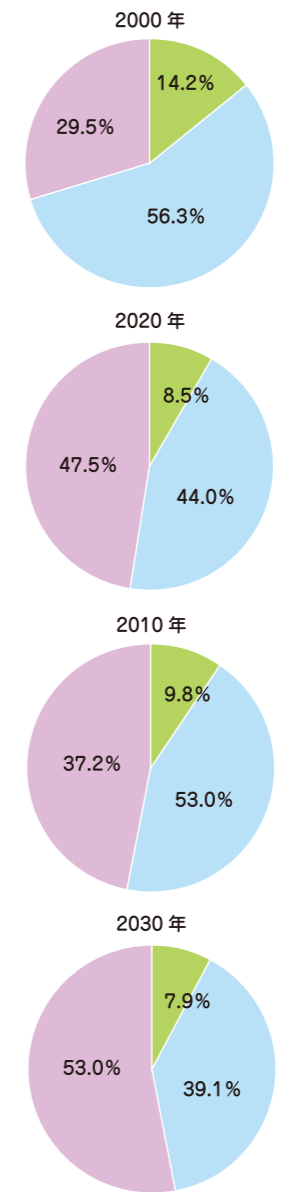


みんなで合唱する猿沢集落の皆さん

■猿沢地域の人口の推移（2020年以降は推計値）



■高齢者率の割合



## データから見えること

- ・2000年から2030年までの30年間で、猿沢地域の総人口は1000人減少する見込みです。これは1年間に33人ずつ減少していく計算となります。
- ・2030年の地域人口の2人に1人は65歳以上、そのうち4人に1人は85歳以上です。
- ・2030年の小中学生の同学年の平均人数は単純計算で男女合わせて8人です。

## 猿沢地域ならではの特産品開発

### 檜原の生糸と鵜渡路の羊毛で作るマフラー！



猿沢地域まちづくり協議会の産業開発部会では、地元の資源を活かした特産品の開発として、檜原の繭玉による絹と、鵜渡路の羊毛を紡ぎ合わせた糸をつくりました。2月18日から「みどりの里」で開催している「まゆクラフト展」において、その糸で製作したマフラーを展示し、しっとりとした手触りや上品な光沢を来場者に見ていただき、購入希望の声も上がるなど、好評をいただきました。

今後は、「猿沢ブランド」として毛糸、製品の販売の可能性を追求、検討していきます。

## シルクフラワー製作工房

### 地域おこし協力隊が猿沢地域にもやってくる！

シルクフラワー工房を活性化して下さる地域おこし協力隊が檜原集落に来ることになりました！地域おこし協力隊とは、都会から田舎に移住した方を、隊員として最長3年間市が委嘱し、地域活動に協力していただく制度で、朝日地区ではすでに2名の隊員が活動しています。新たな隊員は、工房の技術継承やPR、新商品開発、檜原活性化の活動などを行います。猿沢地域のために移住を決めた、熱意のある方で、地域の一員として、温かく迎え入れてくださるようお願いいたします。



## 猿沢小学校の取り組み

### 取り組み② 猿沢小学校スキー授業



11月29日に、塩引き鮭作りをしました。義晴さんと陽向さんのおじいちゃんに、やり方を教えてもらいました。

うろこにそって、竹べらで鮭のぬめりを取りました。ぬるぬるして大変だったけど、楽しかったです。塩も、うろこにそってぬりました。強く力を入れてぬりました。

塩出しをして、干して、塩引き鮭が出来上がりました。家で焼いてもらって、みんなで食べました。味がちょうどよくて、とてもおいしかったです。

(猿沢小学校四年 増子 智哉 板屋 越)

### 取り組み① 塩引き鮭つくりました！

蒲萄スキー場において、猿沢小学校スキー授業が行われました。授業直前まで積雪がなく、開催が心配されましたが、突然の大雪で無事行うことができました。児童は雪山の寒さも忘れ、風を切って滑る感覚を楽しんでいました。頂上から見える鳥海山、日本海にも驚いていました。また、昼食を食べると休む間もなく講師の所へ向かい、早く滑ろうと誘っていました。怖くてうまく滑れなかったり、転んだりしても一生懸命努力して上達していく児童達の姿は輝いていました。

(菅井 学 猿沢)

